

補助金評価シート（H26終了分）

区分	補助根拠	法令補助	・(その他補助)	開始時期	平成26年4月1日	終期	平成27年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	越後線増便社会実験関連バス補助金 JR越後線の増便実験と連携し、二次交通として駅接続バス（住民バス）の増便実験に対して補助することにより相互の利用促進を図る。						
款・項・目	土木費 都市計画費 都市計画総務費						
所属等	都市政策部 都市交通政策課 地域交通整備室 電話025-226-2730						

年 度		26年度（1年目）		年度（2年目）		年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	8,651					
	決算(千円)	7,768		0		0	
補 助 率		95%					
目 標		越後線の利用者増加と駅接続バス路線の強化を図る。 <目標が数値でない場合の評価方法> 越後線増便の本格運行化					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	増便実験した住民バスの収支率は向上したものの、H24.3より3年間実施した越後線増便実験は、本格運行となる1日当たり350人の利用者増という目標を達成することができず終了した。					
補助事業者による情報の公表		車内に掲示 又は 交通事業者ホームページ					

チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか		e. 指標の推移が維持・向上しているか	
	b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	
	c. 補助額が5万円以上になっているか		g. 目標は数値化されているか	×
	d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)		h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
評価欄	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 利用促進に取り組んだものの沿線の人口が少ないことなどから、補助率は1/2を大きく上回った。 <g～hにおける取組> 当補助事業は、越後線の増便社会実験と併せて実施した事業であり、目標の設定を越後線増便の本格運行化と設定した。		
	目標未達成の原因分析	<目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>		
拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） 継続 <u>廃止</u> ～ の評価理由 目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 越後線増便実験の終了に伴い、当該補助金を廃止する。				